

**日本国とオマーン国との間の
安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップの強化に関する共同声明
(骨子)**

1. 政治・安全保障分野における協力

- 外務省間政策対話に関する覚書の署名。
- 法の支配及び国連海洋法条約を含む関連国際法による紛争の平和的解決といった基本原則に基づく海洋秩序の強化に関する共通の利益を共有。海賊対処活動を含め、海上安全保障における協力強化の必要性を共有。安倍総理より国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の下、中東地域を含む世界の平和と安定にこれまで以上に積極的に貢献する決意を強調。カブース国王は決意を歓迎するとともに、湾岸地域における平和で安定した海路の確保に引き続き努めることの重要性を確認。防衛交流を促進する意思を表明。
- 中東淡水化研究センター（MEDRC）への継続的な支援の重要性を認識。
- 政府高官の定期訪問の重要性を認識。外交・公用旅券所持者の査証免除に関する議論継続を決定。
- 閣僚レベルでの日 GCC 戦略対話の重要性を認識。

2. 経済分野における協力

- 日本への石油・LNG の供給に対するオマーンの継続的な努力を歓迎。
- エネルギー分野での協力強化及び日本企業の進出支援の確認。石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）と石油ガス省間の資源開発の技術協力に関する覚書の署名を歓迎。国際石油交流センター（JCCME）による研修事業や専門家派遣の長期的な実施を歓迎。
- 租税協定の署名及び投資協定の実質合意を歓迎。日 GCC・FTA の交渉再開を支持。
- 電力・水インフラの開発における更なる協力の重要性を認識。
- 国際協力機構のコスト・シェア技術協力を歓迎し、両国の経済関係強化に貢献することを期待。
- 観光産業や交通システムの改善を含む都市開発分野における協力の意思を表明。
- 日本の先進医療技術及びサービスを活用した両国の医療部門における協力と交流の強化を確認。
- 食文化に関する相互理解の促進、食品の品質等に関する情報交換の発展の重要性を認識。
- 貿易・投資促進の重要性を表明。オマーン投資輸出庁と中東協力センターとの協力を歓迎。
- 日本・アラブ経済フォーラムの成果を基に、更なる日アラブ協力に向けて取り組む意思を表明。

3. 教育・文化分野における協力

- 教育分野での協力強化の重要性を確認。スルタン・カブース寄付講座による研究促進、オマーン人留学生数の増加及びスルタン・カブース大学での日本語入門講座の提供に向けた取組に対する期待の表明。
- カブース文化科学高等センターによる文明対話のイニシアチブを歓迎。文化交流・青年交流や若年層の能力開発等の協力強化の重要性を確認。これらの交流に関する両国の友好協会の役割に謝意を表明。日本国立公文書館とオマーン国立公文書庁との協力に関する満足の意の表明。
- カブース国王による 2020 年のオリンピック・パラリンピックの日本開催に対する祝意の表明。

4. 地域及び国際社会の課題

- 今次訪問が幅広い分野での外交政策に対する相互理解の深化に貢献したことを確認。（了）